

# ICFにおける構成要素について



# ICFにおける構成要素について

(第2回社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会資料より)

## 1. ICFにおける構成要素

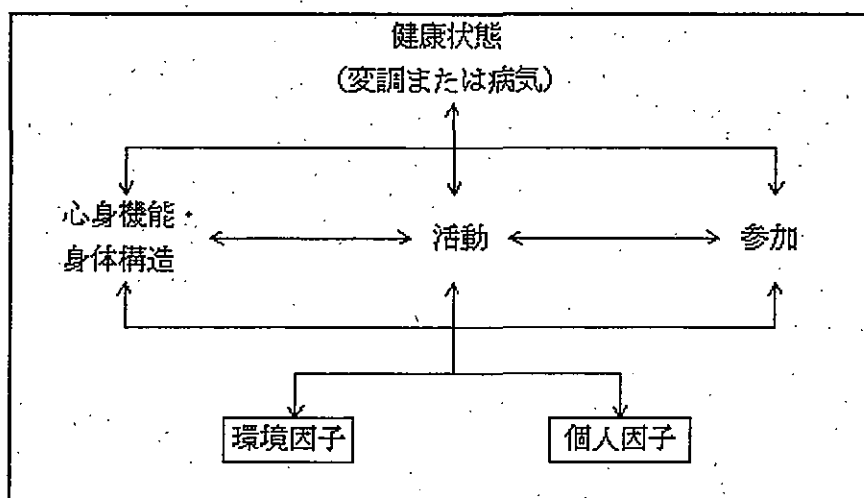
- ICF は、健康状況と健康関連状況を記述するための統一的で標準的な言語と概念的枠組みを提供することを目的としている。
- ICF は、人間の生活機能に関して、アルファベットと数字を組み合わせた方式で分類として活用できる構造となっている。
- ICF には、「生活機能と障害」及び「背景因子」という二つの部門があり、前者は「心身機能・身体構造」、「活動」及び「参加」の構成要素からなり、後者は「環境因子」及び「個人因子」の構成要素からなる。

|     |  |
|-----|--|
| 第1部 | 生活機能と障害  |
|     | (a)心身機能 (Body Functions)と身体構造 (Body Structures)<br>(b)活動 (Activities)と参加 (Participation) |
| 第2部 | 背景因子   |
|     | (c)環境因子 (Environmental Factors)<br>(d)個人因子 (Personal Factors)                            |

なお、「個人因子」は、「背景因子」の構成要素の一つであるが、社会的・文化的に大きな差異があるために、ICFでは今のところ分類されていない。

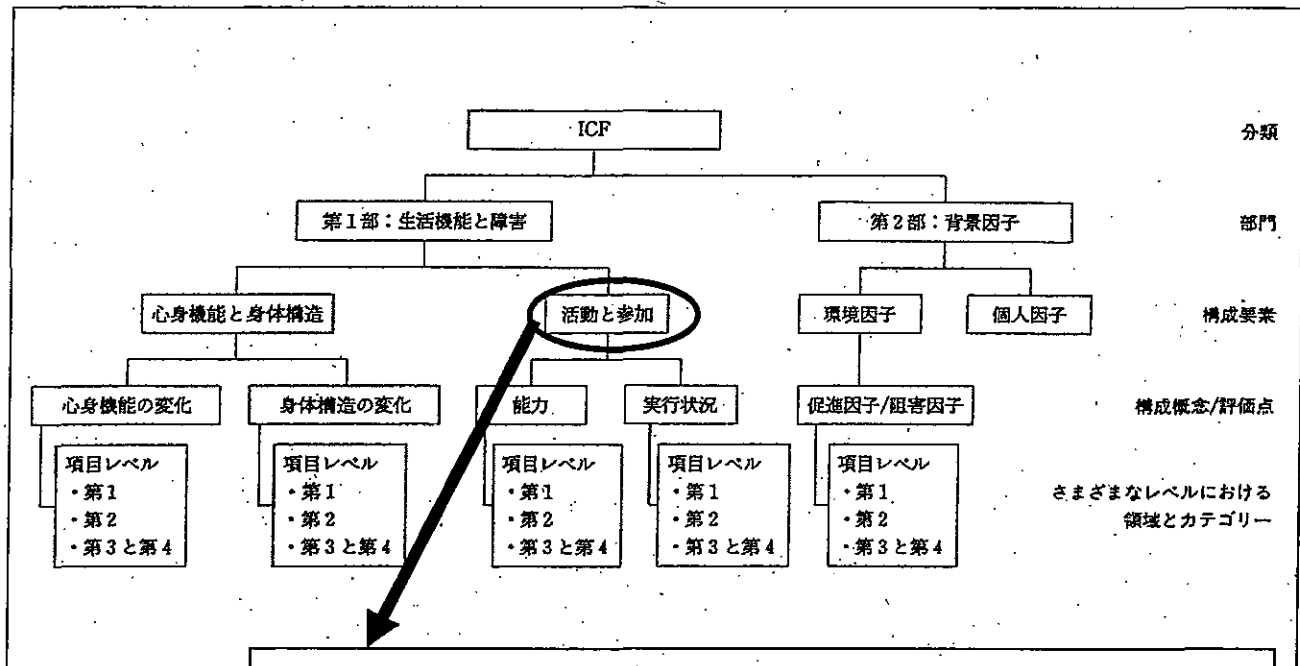
## 2. 構成要素間の相互作用について

個人の生活機能は、健康状態と背景因子との間の相互作用あるいは複合的な関係とみなされる。



### 3. 分類としての ICF の構造

#### 構造の概念図



注：原著翻訳のままの図であるが、構成要素を適切に表記するならば、**活動** 及び **参加** と分けるべきであると指摘されている。

- ・ 構成概念：コードとそれに関連する評価点との併用によって定義される概念
- ・ 領域：関連した生理機能、解剖学的構造、行為、課題及び生活・人生分野についての実際的で有意義な組み合わせ。
- ・ カテゴリー（項目）：分類の単位
- ・ レベル：階層的な順位。カテゴリーの詳細さを示すもの

## <用語の定義>

### ◆「生活機能」に関する用語

- 生活機能 (functioning) :  
心身機能、身体構造、活動及び参加の全てを含む包括用語
- 障害 (disability) :  
機能障害、活動制限、参加制約の全てを含む包括用語
- 心身機能 (body functions) :  
身体系の生理的機能 (心理的機能を含む)
- 身体構造 (body structures) :  
器官・肢体とその構成部分など、身体の解剖学的部分
- 機能障害 (構造障害を含む) (impairments) :  
著しい変異や喪失などといった、心身機能または身体構造上の問題
- 活動 (activity) :  
課題や行為の個人による遂行
- 参加 (participation) :  
生活・人生場面 (life situation) への関わり
- 活動制限 (activity limitations) :  
個人が活動を行うときに生じる難しさ
- 参加制約 (participation restrictions) :  
個人が何らかの生活・人生場面に関わるときに経験する難しさ

### ◆「背景因子」に関する用語

- 背景因子 (contextual factors) :  
個人の人生と生活に関する背景全体 (構成要素は環境因子と個人因子)
- 環境因子 (environmental factors) :  
人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境を構成する因子
- 個人因子 (Personal Factors)  
個人の人生や生活の特別な背景

